

第5回美里町立小学校適正規模等検討委員会概要録

招集期日	令和3年1月15日(金)
招集場所	美里町防災倉庫 会議室
開会閉会	開会 午後3時00分 閉会 午後4時20分
出席委員	委員長 松本 浩 副委員長 鈴木 峯一
	委員 茂木 智孝 委員 山崎 香苗
	委員 関口 典夫 委員 関口 勝己
	委員 丸山 耕一 委員 中沢 一剛
	委員 清水 奈津子 委員 小林 健治
	委員 堀内 晴美
欠席委員	委員 橋本 英和
説明のために出席した者	教育長 南 幹生 事務局長 丸山 陽一
	主席指導主事 門倉 正人 指導主事兼係長 下田 裕美
	主査 中山 裕紀
傍聴人	0人

次第	顛末	
1 開会	事務局	
2 あいさつ	教育長	<p>緊急事態宣言下だが、感染対策防止を行なったうえ、検討委員会を実施したいと思う。</p> <p>今回は、美里町内で児童数の多い東児玉小学校の視察をしていただいた。昨年10月16日の第3回検討委員会では、大沢小学校を視察していただいたが同じ町内でも教育環境は随分違うことが理解できたと思う。</p> <p>今後、日程調整を行いながら残り1校の松久小学校の視察も行いたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>毎回お願ひしていることだが、将来の美里町を背負って立つ子供にとって学校教育環境は何か。その望ましい学校教育環境の中でどのような教育を進めたら良いか等の視点を大切にして検討協議を進めていただければと思う。</p>
3 議事	事務局	進行については、委員長にお願ひする。

委員長	(1) 美里町東児玉小学校の視察について、皆様から気付いたこと・ご感想をいただければと思う。
委員	<p>全体から見ると、大沢小学校は和気あいあいとした授業風景だったが、東児玉小学校の3年生は混み入った感じで、こんなに混んでいて大丈夫かといった印象を受けた。手洗いとか廊下のソーシャルディスタンスを守っているか。実際に教室の中が混み入ったかなり狭いようなところで授業を受けるのは、子供たちはどう考えているのか、三密とはどの程度が三密なのかが疑問に思った。</p> <p>大沢小学校のように広い形で授業ができないのかと思った。</p>
委員	<p>適正規模等検討委員会の目的を頭に置いて感じたことは、トイレが新しくなったこと、エアコンが全てついていること、床の劣化がかなり進んでいること、木が割れていたこと、そういう所が目で見えた。</p> <p>適正規模等検討委員会会議で、これから各小学校何が問題か、保守保全でどのくらいお金がかかりそうなのか。見通しは見ただけで分からないが、良い所と劣化が進んでいる悪い所は見受けられた。</p>
委員	<p>コロナ禍の中で安全対策をしていた。トイレがきれいになっていて、手洗いが自動になっていた。</p> <p>私は東児玉小学校出身で、私がいた頃は、全クラス子供がいっぱいだった。今、見ると空いている部屋がちらほら見受けられるというのが印象的だった。夜、PTAでお邪魔するが、日中お邪魔して改めて見ると、床とかに劣化があった。トイレはきれいになったが、他は劣化があるなど思った。</p> <p>建物はまだ使える環境が整っているとは感じた。</p>
委員	<p>パッと見ての印象は、すぐに密だと思った。娘は5年生で、11名。東児玉小学校の5年生は1クラスが23名と22名。22名でも教室が狭いと思ったのが印象である。</p> <p>息子は、3年生で12名。東児玉小学校の3年生</p>

	<p>は1クラス37名入っていたので、これに関しては不安しかないという印象だった。コロナ禍なので、大沢小学校でも人数の面で心配だが、東児玉小学校を見て率直に親としては不安だなと一番に思った。やはり児童が多いので、先生1人に対しての児童数は大沢小学校より多く、もし統合になった場合、3校が一緒になるとしたら児童数が多くなる。</p> <p>統合はして欲しいと思ったが、東児玉小学校を見て不安に思ってしまったのが大沢小学校保護者の印象である。</p>
委員	<p>東児玉小学校の資料で、学校の沿革を見させていただくと、昭和53年に新校舎完成とある。私の見間違いでなければ43年位経っているということか。その間に31年経った平成21年に、A棟、B棟、校舎給食室の大改修など結構手を入れた改修が行われていると見受けられる。それから、12年経っているの、次に何年先か分からないが手を入れていかなければならない、お金のかかるようになった校舎になってきていると思った。</p>
委員	<p>教育委員だった平成21年、3つの小学校の大改修の時に、当時美里中学校が新築になったが、凄くお金をかけて大改修をしても、新築とは全く違うというのがその時の印象だった。</p>
委員	<p>まず、最初に感じたのは、トイレの改修が終わって3校の中で最もきれいになったということで、非常にもったいないと感じた。このまま使えたら良いのにと感じた。子供達は、トイレに入りやすくなったのではないか。</p> <p>それと、大沢小学校と比較してみて、大沢小学校は非常に少人数だから、踏み込んだ指導ができるのと同時に、施設は余裕があると感じた。東児玉小学校は、一人ひとりきめ細かな指導というのはちょっと大変かなと思った。</p> <p>ただ、東児玉小学校は40人いるということで活気があると感じた。体育の授業を見ていると凄く活</p>

	<p>気があると感じた。あれが10人程度の所でやっていたのでは意欲がなくなるのかなと感じた。やはり、数が多いということで色々な性格の子供達と接触することができて、色々なことを学び取ることができるのではないかと感じた。40人は多すぎるし、10人は少なすぎるし、文部科学省がこれから35人学級を考えていくようだが、そんなところも参考にしながら、これから私達は考えていったらいいと感じている。</p>
委員	<p>人数で言うと、本校の一番多い人数が東児玉小学校の一番少ないクラスということで、頭ではわかっていたが、今日久しぶりに参観させていただき、日々の生活自体そのものの中に本校にはない苦労をされているのではないかと、各教室を見て先生達の教卓の配置ひとつにしても本校にない苦労があると思った。</p> <p>コロナという状況で言うと、密というところに見どころがいつてしまうが、この先何年か後コロナが収まった後に、ある程度の人数があるほうが先程の副委員長の話のように、本校にないエネルギー感やはり私も感じた。</p> <p>子供達にとって、35人学級がこの後進む中で、どの人数が一番適しているのかというのは、数字としてはなかなか難しいが、ある程度の人数の中で、色々な問題に直面し、解決しながら成長していくのも、子供達にとっては必要と感じている。</p>
委員長	<p>昨年12月に文部科学大臣から、今年の4月から2年生を35人、順次5年をかけて35人体制にしていくことが、財務大臣との了解が取れて、後は法令整備をしていくとニュースの報道があった。</p> <p>これで、美里町の3つの小学校を考えると、1年生は84人で3学級、2年生は86人でこれも3学級、3年生は89人で3学級、4年生は76人、これも35人学級を考えると3学級、5年生は87人。こんな感じで早く35人学級になってくれると、クラスも増えて活気があるのかと思いました。</p>

今日私も見せていただいて、やっぱり40人というのは多く感じるけれども活気はある。活気があった方が子供達には良いと感じた。

しかしながら、一方で緊急事態発令で三密を避ける、先程委員から密という部分でどうなんだと質問があったが、学校はそれなりに工夫はしていると思う。後程また、校長先生からこのような工夫をしているとお答えいただこうと思うが、校長先生から話を聞いて、なるほどと思ったことがある。

それからもう1つは、先程の床の話、大規模改修の話で、校舎の耐久年数は40年くらいだろうか。それを、改修工事をすることによって20年位延ばすと60年。そう考えると、それぞれの学校は、大体同じ時期に造っていると思うので、大改修後20年位がまた1つの目安になると思う。また後程、今日は事務局からそれぞれの学校の修繕、必要経費等が資料として示されているので説明をしていただこうと思う。

先程の密に関して、折角の機会なので参加している委員に安心していただくよう、人数が一番多い東児玉小学校の取り組みを幾つか紹介していただきたい。給食時の話等色々あったと思うので、お願いしたい。

委員
(東児玉小学校長)

やはりコロナのことがあって、何よりも心配したのは37人の3・4年生の学年をどのように密を避けるかが本校の最大の課題だった。それで、学習支援員を町から派遣していただいていたが、授業をやっていいと話をいただいたが、本校はクラスを分けてやるということについては、やはり良くないという判断で学級担任が授業をやるというのを進めている。ただ、算数や教科によっては、少人数にしたり、急遽コロナのことで、音楽などでは、特別教室を使用して人数を分けて、先程の学習支援員をそこに充てる等、リスクがある学習活動については、密を避けて教室を変えて行うということで工夫している。

また、一番リスクの高い給食の時間でマスクを外

	<p>すところは、給食が始まった時から、3・4年生を2つに分けるということで、特別教室に担外を1人配置して、1クラスを2つに分けて配膳している。本校では、今も2クラスに分けてやっている。</p> <p>そういったことで全部は難しいが、リスクが高いところについては、できるだけ人員配置をして、できる範囲で子供達の密を避ける方法で学習活動をしている。</p>
委員長	<p>松久小学校も3年生31人、5年生29人のかなりの数だが、その辺の取組をお聞かせいただきたい。</p>
委員	<p>本校は全部単級のクラスで、一番多いクラスが3年生で31名だが、そこに特別支援学級の児童が給食の時には3人いるので実質34人である。教室自体、実は耐震で梁を入れた教室が3年生に当たってしまっていて、床1マス分くらい教室面積が狭い実態があるが、それでもできるだけ間隔をとって行っている。</p> <p>給食は、1年生から3年生までについては、担任以外にもう1人職員が入って、できるだけ配膳の時のリスクを避けながら行っている。4年生については、当初6・7月は入っていたが、その後緩やかになった時点で、担任だけに切り替えていこうということで、今回また緊急事態宣言が出た中でどうするか話し合いをした時には、今のままで何とかできるであろうということで、様子を見ながらやっている。特に給食については、普段の席で前を見ながら静かに食べるという申し合わせをしっかりと徹底させているが、若干緩くなったところがあったので、もう1回今の時点で徹底させている。とにかく今は、気を付けながらやっていて成果が上がっているので、もう一度それをしっかりとやっというのが実態である。</p> <p>幸い、町と国から学習支援員等が今年は追加で配置されているので、実質1年生から3年生までは町</p>

	からの職員を含めて、2人体制で全ての時間の面倒を見れるので、例えば活動が密になりそうな時は、入ってもらい声かけをしてもらっている。
委員長	先程、感想を言っていた時に、委員の方々から、東児玉小学校は大沢小学校と比べると随分密だと感想が出たので、校長先生にその辺を触れていただいた。学校は学校なりに工夫をしている。東児玉小学校の場合は、余った教室を上手く利用しているのがよく見てとれた。たぶん松久小学校も2学級並行で造ってある。だから、1クラス教室が余るのでそこを上手く利用してできるのだろうと思った。
委員長	机上に前回会議の概要録があると思うが、それについて、事務局の説明を求める。
事務局	第4回会議の概要録については、委員から署名をいただき、承認済みなので報告する。
委員長	次第の(2)と(3)に入っていきたいと思う。もう一度確認するが、私達の委員会に諮問されたのは、適正規模・適正配置に関することである。先程も適正規模という点で触れていただいたが、これからも適正規模・適正配置というのをいつも念頭に置きながら、これからの案件を考えていただきたいと思う。 (2)施設維持及び新設の場合の費用推計について、事務局の説明を求める。
事務局	【資料1-1】施設長寿命化のコストの見通し(改修・更新等費用) / 学校新設の整備費試算 【資料1-2】修繕費決算額一覧 【資料1-1】だが、美里町においては、平成28年3月に公共施設やインフラ資産に関する現状や将来の見通しを把握して総合的かつ計画的な管理を行うことを目的として総合施設と管理計画を策定した。その計画を受けて公共施設の維持管理を適切に行うにあたり、厳しい財政状況の下、施設の安全性を確保しながら機能向上を図るために、令和2年3月に美里町公共施設個別施設計画を策定した。

その中に学校教育系施設編というものがあり、施設を長寿命化する場合のコストの見通しのグラフがある。今ある施設をなるべく長く使える形で大きな改修を加えながら施設を維持していくとどうなるかというコストのグラフである。従来型の40年経ったら新しいものを建てるというのではなくて、修繕しながら長くもたせるという計画の中で、これは中学校を含んだグラフなので、全体35年の計画で、60億4千万円程の費用がかかるという計算をしている。

このグラフを作るにあたって推計したデータの小学校と中学校を分離した形で表示しているのが上の資料である。計画では、1年目が来年度という形になるが、そこから35年の間どういった費用がかかるかが書かれている。実際どこが壊れてどこを直していくというのは、その状況によって変わるものでもあるので、あくまで標準的な単価で計算しているものになるが、各学校の面積の大きい主要施設で、35年間でおよそ40億円弱かかる試算が出ているところである。平均すると年間1.1億円強となるが、これは大規模改修を含めているので大きな波はあるが、このような形での推計となる。

続いて、新設の費用も視野に入れなければならない。こちらについては、右下の枠に記載している。現時点では、どういった学校を作るといったイメージはしていない中で、非常に想定は難しいが、ここではまず、この公共施設の計画を策定するにあたって使われた、総務省の公共施設更新費用試算ソフトの単価のうち、学校教育系施設の単価、1㎡あたり33万円を利用した。施設規模は、はっきり言ってまだ何も想定されていないので、まずは東児玉小学校の規模が一番大きいので、教室・体育館・給食室の面積を合計して、33万円の単価を掛けて13億6千万円の試算が出た。これについては、あくまで最低ラインの金額と考えられるものであり、体育館と給食室は面積を含めて計算したが、プールやそれ

	<p>以外でも整備しなければならないものがあると思われるので、実際には、ここで表示されている以上の費用がかかることが想定されるが、明確な学校規模が想定されていない中でのあくまで参考ということでご理解いただきたい。</p> <p>続いて【資料1-2】だが、施設を維持していく上で修繕費が主にかかるが、修繕費の決算額一覧として、前年度までの5年間の小学校の修繕費決算額をまとめたものである。この中で、平成30年度については、大阪府でブロック塀倒壊の事故が発生したということもあり、緊急点検を行って松久小学校・東兎玉小学校がプールのブロック塀を修繕したという部分で、緊急におよそ3百万円以上それぞれかかったのが急激に多くなった部分もあるが、令和元年度は大きくかかったものがないにもかかわらず、年間1千万円以上修繕費がかかったのが、施設が古くなっていくにつれて、修繕費が当然大きくなっていく。3小学校を維持していく中では、そういった修繕費が増加していくことが想定される。</p>
委員長	<p>学校を維持していく上では、当然費用もかかってくる。我々は、そういうものを客観的に見ていく必要があるということで、皆様にもかかる費用を理解していただきたいと事務局から提案していただいた。</p> <p>この資料を見て、質問・意見等あったらお願いしたい。</p>
事務局	<p>補足となるが、【資料1-1】の右下の学校施設の整備費試算は、あくまで校舎1棟の価格で、東兎玉小学校クラスを建て替えるということで、この金額である。</p> <p>そうではなくて、今の学校の場所に3小学校残すことになるので、3倍近い金額がかかることを頭に入れておいていただきたいと思う。</p>
委員長	<p>【資料1-1】上の表で、年数1が2022年として考えていくと、5年経って7億8,150万円、</p>

	この間にかかると見て良いか。
事務局	あくまで、今ある施設はすぐ長寿命化改修を入れる方が良いという試算であり、長寿命化改修をまず行なった上で、施設の寿命をもっと延ばしていくという想定で出ている。実際、すぐやるのかという判断になってくるが、試算だと大きな改修を入れて何ともたせていこうという中で、まず5年間の中で7億円と出たというところである。実際、この施設の改修を行うかは状況によることになる。
委員長	そうすると、15年経つと7億8千万円と13億円で約20億円投入しないと維持ができないということか。
事務局	建て替えない想定になるが、今のところなるべく長く、60年かそれ以上もたせていくという中で、このような間隔で大規模改修をしていかなければならないという想定がなされている状況である。
委員長	15年間20億円で現状維持がなされている。事務局長が言われた、建物だけ新しくすると1校ならば13億円、真ん中に1校建設するとなると土地代もかかってくるから20億円位かかってしまうというイメージになる。
委員	<p>学校新設の右下資料で、学校新設の設備費試算について、東児玉小学校の新設が約4000㎡で33万円を掛けて13億円となる。</p> <p>松久小学校の一番上を見ているが、4年で4億5千万円、9年で1億円、14年で1億円、これだけでも6億5千万円かかる。新しい校舎だと20年という事を考えると14年で改修費用を超える。そうするとやっぱり新設した方が安くなるのではないか。</p> <p>改修はどのようなものか分からないが、こういうのを考えると新設する方が良いと思う。</p>
委員長	私もそう思う。こういうのは表が出てこないと見えてこない。

委員	<p>これは校舎だけを捉えたシミュレーションで、先程説明があったが、例えば2倍・3倍の広さ、面積だと60億円位になってしまうのか。それに対して、もしこの適正規模の考えている方向が、中学校の近くに統合になった場合、これに伴って児童達を送迎した場合、まだまだ多大な金額がかかる。忙しいと思うが、全体的なシミュレーションが必要だと思う。</p> <p>修繕のこのような数字を見ると、建て替えた方が良いと思うが、一般家庭でとらえれば、古い家を何百万円もかけて直しても、2・3千万円の家を作る方が良い。大変なことだがそのように感じた。</p>
事務局	<p>もちろん、これで1校を整備する形になると、委員が言われたように送迎バス等を考えていかななくてはならないと思う。例えば、学校に児童を集めてピストンにするとか、地区をまわっていくとか、方法はあると思う。ある程度想定した上で、バスを用意したらどの位かかるか、次回に示せるように見積もりを取っている。</p> <p>当然、学校新設した際にもそれからまた維持費がかかってくるので、単純にこの2つを比較するのは難しいかもしれないが、付帯する費用もなるべく想定できるものをこれから示したいと思う。</p>
委員長	<p>事務局へのお願いだが、例えば、決定ではないが、適正な位置に新設の学校を1つ用意して、スクールバスで輸送したらという想定シミュレーションを作ってもらえるか。</p>
事務局	<p>バスについて、シミュレーションをさせていただく。</p>
委員長	<p>大体3km圏内は、45分位になっていると思うので、3km以上の子供達が歩いて来てバスに乗る想定が良いと思う。今は、1時間圏内は徒歩だっと思うが、ちょっと少なく45分圏内は徒歩で、これ以外の子供はスクールバスみたいな感じにするとどれくらいの費用がかかるのか必要になると思</p>

	う。全員がバスと考えないで、小学生はあくまでも自分の足で歩くと。どうにも1時間超えてしまうような子供については、スクールバスでと考えるのが良いと思う。多分、文部科学省のそのように想定していると思う。
副委員長	新設費用で、地代は考えているか。
事務局	地代は除いている。建物だけの想定である。
副委員長	今、地代はだいぶ安くなっているから、土地も買い時だと思う。今まで意見を聞くと修繕より新設の方が安くあがると。新設した場合でも修繕した場合は、修繕費がかかるが、単純に考えると新設した方が安上がりかと思う。
委員長	初めてこういう費用面から踏み込んだ訳だが、何となく皆様の考え方を聞くと、修繕よりどうせなら全く新しい校舎を作ってしまう方が、単価が安く済むのではないかと思う。
委員	<p>小学校3校の大規模改修が10年位前に終わった。お金をかけて改修すると、きれいになると思うのだが、実際に改修が終わって行くと、思ったほどではなく、何億円もかけてこれくらいかと思ってしまった。</p> <p>ちょうどその頃中学校が新築されたが、新設の学校は違う。外壁も違うし、窓の造りや窓を二重サッシにするとところまで、修繕だとなかなかいかない。実際に私が見た感じでは、新築校は本当にきれいだし、子供達もものすごく変わった感じがした。あまり変わらないと掃除も行き届かないが、中学校が新築になってから本当にみんなが掃除をきちんとするようになっていて、白い壁を上履きで蹴とばした跡は、長い間一切なかった。それが、ずっと長く続いているので、全く新しくなったのは気持ちのところでも非常に気分を上げたりするのではないかと思った。</p>
委員	10年前の大規模改修は、耐震化に伴った工事だったので、例えば一番最初に工事を行った東児玉小

	<p>学校は、地震に耐えられるということで、梁を入れただけで、他の施設についてはほとんど手つかずの状態だったと伺っている。</p> <p>松久小学校については、耐震化で梁を入れるほかに、教室のロッカーなどいくらか手を加えて新しくなったところと、廊下など古いままのところを混在していて、大沢小学校は耐震化はあまり必要ではないので、リニューアルという形でかなりきれいになったということ、教育委員会に勤務していた時に伺った。</p> <p>大規模改修といってもそれぞれ目的が違ったり、当時の学校の状況で違うので、きれいにするためというよりも、耐震化というのが第一目標だったと伺っている。</p> <p>中学校は、新しい校舎を建てているときに大震災がきて、あの地震にも耐えられる建物だから十分だろうというようなお墨付きが出たということ、当時の課長に伺った。</p>
副委員長	いずれにしても、新しい方が良いと。
委員長	(3)同規模自治体の実例について、事務局の説明を求める。
事務局	<p>【資料 2-1】 美里町と同規模の市町村</p> <p>【資料 2-2】 佐久穂町統合小中学校整備事業 経過</p> <p>【資料 2-3】 佐久穂町教育目標・学校施設</p> <p>第4回の会議で、委員のかたから埼玉県外で美里町くらいの規模、そして、一番近くで検討委員会をやっている所はどこかと質問があったので説明する。</p> <p>【資料 2-1】は、令和2年1月1日住民基本台帳年齢階層別人口（市町村別）の総計に基づいて作成した。</p> <p>美里町の総人口は、11,205人。0歳～4歳、5歳～9歳、10歳～14歳の階層別人口がそれぞれ347人、421人、462人となっている。美</p>

里町の総人口と3つの階層別人口に対して±20%くらいの条件を設け、日本の全市町村から該当する市町村を抽出したものである。また、参考になるように令和2年1月1日現在の市町村の小中学校数を併記した。

全体を見てもらうと、日本全国様々である。美里中学校は1校だが、他の市町村で多い所では、同規模で4校の所もある。詳しく色々見ていくと、この中のいくつかの市町村は、学校の統廃合についての検討委員会の情報や経過をホームページに載せているので、抽出した56市町村の教育委員会の情報をあたっていくと、いくつか経過がよく見てとれると思う。全て紹介するのは難しいので、代表例として本日1例、挙げさせていただく。

長野県にある南佐久郡佐久穂町は、ここから高速道路があるので、だいぶ近い位置にあるかと思う。高速道路で行くと、2時間弱で学校まで着ける計算である。ここについての説明が【資料2-2】となる。長野県南佐久郡佐久穂町統合小中学校整備計画経過を示したものだが、これによると、平成19年2月に小中学校・保育所のあり方検討委員会が設置され、小学校4校、中学校2校の今後について白紙から検討がなされた。平成20年4月に小中学校・保育所あり方検討委員会から「適正規模の人数でわが町に根付く特色ある教育」ということで、学校・クラスの適正規模、わが町に根付く特色ある教育、地域で育てるとし、小学校1校、中学校1校に統合し、茂来館周辺に新設校舎を建設すべきであるという提言がなされた。これに基づき佐久穂町は、平成21年12月に小中学校のあり方の町の方角性を提示した。提言を受け地区懇談会・保護者説明会・アンケート等を実施していったが、「佐久中学校と八千穂中学校を1校に統合する」「佐久東小学校、佐久中央小学校、佐久西小学校を1校に統合する」「八千穂小学校については、当面の間、既存施設を改修等により使用する」「新校舎を建設する」「平成27

	<p>年4月1日を開校の目標とする」「場所は佐久中学校敷地を使用する」その後の流れについては、資料の通りである。</p> <p>ちょっと注目していただきたいのは、委員会の設置から開校まで8年2か月程かかっている。やはり、この統合等について恐らく10年後、そういう事を想定した検討がなされたのではないかというふうに思う。</p> <p>続いて、【資料2-3】だが、平成27年4月1日開校なので、かなり新しい施設になっている。特に、これを見ても、プールが小中学校別々に新しく設置されていたり、全天候型テニスコートが設置されていたり、かなりお金のかかった施設になっているのではないかと思う。平面図形とか色々な部分だけを見ても、少しゆとりのある造りになっていると思う。</p> <p>今、コロナ禍でなかなか施設等を見に行く事ができない。近くでは、江戸川小中学校へ19日に教育委員会事務局で視察に行き、また視察結果を次回報告させていただくが、事務局として考えているのは、こういう状況が改善して、視察地があるとなれば、こういった所を施設の新しい部分を含めて見ていくと大いに参考になるのではないかと思い、この1校を代表して本日出させていただいた次第である。</p>
副委員長	<p>【資料2-1】だが、美里町の人口11,205人で、0～4歳が347人、5～9歳が421人、10～14歳が462人というところ、10年後はマイナス115人で4分の1減少するという状況である。そうすると、10年後に増えることはまず有り得ない、この後も増えないと感じている。そういうことを考えると、このまま3校でいくのが良いのかどうかというのを感じた。</p>
委員	<p>いくらぐらいかかったのだろうか。国会議員の先生が佐久穂町にはいたか分からないが、簡単にはできないことである。お金の都合がつくのであれば、</p>

	<p>こういう感じのものを美里町にできたらいいと思う。</p>
委員長	<p>今、佐久穂町の統合小中学校にかかる費用の質問が出たが、市町村合併の際に、国から補助が出ると思うが、それを利用しているのだろうか。</p>
事務局	<p>そうだと思う。美里中学校が確か10年前新校舎を建てたが、当時13億くらいだった。その頃、国の補助金が50%付いていて、今回新築した場合に補助金がどのくらい付くのか調べたが、今現在は補助金が少ない。起債等、造ってから見えない部分で面倒を見てもらえるのが多少あるのはあるが、昔のように50%、13億なら6億5千万円補助が付くとかそういうものは今のところない。今後探していかなければならないと思う。この佐久穂町などはタイミングよくしっかりしたものができたと思う。</p> <p>学校を造って、体育館を造って、また新しくするということになる、これから体育館もエアコンを入れたり、もう少し良いものにとすることを考えていかなければならない。</p> <p>先程も言ったが、事務局で提示した13億くらいというのは最低限である。今の美里中学校は良いものなのでそのまま活かしながら、造るとすれば、小学校はやはりきちんとしたものを造りたいと思う。補助金の関係は、そういった状況である。</p>
委員	<p>委員の話と事務局の話を繋げて、【資料1-1】の学校新設整備試算で33万円と出ていて、この資料の右側のところで校舎と体育館の延床面積を入れて、33万円をかけると、私の計算で間違いなければ、佐久穂町の学校規模にすると55億4千万円くらいか。この試算でいくと、そのくらいかかっているのかなと見られるが、いかがか。</p>
事務局	<p>これは、あくまで小中学校全部なので、既存の中学校を活かした形になると思うので、おそらく延床</p>

	面積にして半分くらいになると思う。写真で色々見ているが、かなり広い空間を贅沢に利用した施設になっている。
教育長	これは、小中学校合わせた床面積か。
事務局	はい。
委員長	この学校は、かなり広い。
教育長	イメージ的には、3校くらいか。
事務局	はい。写真を見ると、玄関にしてもすごく広い造りである。やはり思うのは、美里中学校へ行ってもらいと分かる通り、廊下が広い。小学校は廊下を通ると狭い印象があるが、廊下の広さは、かなり印象を受けると思う。考えると、廊下ひとつにしても、広い造りにした方が、せつかくであれば良い。
委員長	<p>先程の話ではないが、通常なら40年、長寿命化で60年子供達に使ってもらおうということを考えると、どうせ造るなら良いものを造っておく方が良いのかと。お金のことは、またその後相談しなくてはならないと思うが。</p> <p>経過の方を見ていただきたい。やはり、地域の人の願いというのは、この整備事業の経過のところに出ているかと思う。というのは、平成17年、平成の大合併で佐久穂町と八千穂村が町村合併した。だいたい町村合併をすると、どちらが主導権をとるのかとか、おらが町のおらが学校を残してくれとか、必ずそういうのが出てくるが、もう2年後には、このあり方検討委員会を立ち上げて、そして3年後には提言を出している。そして、平成22年の1月には、地区懇談会とか保護者説明会の形でどんどん進めていて、平成22年4月には、用地取得という形で動き出している。かなりのスピードでみんなが一丸となって、佐久穂町も八千穂村も関係ないんだと。自分達で良い学校を造っていくんだという方向がこれには出ているんだと。この経過を見る限り見てとれる。</p> <p>今日参加の委員の皆様方を見ていると、子供達の</p>

ためには良いものを造ってあげたいという意見が多い。そういう面では、佐久穂町の皆様の考え方と参加の委員の皆様方は凄く似ていると、会を進めていて私自身は感じている。

美里町もこういう提言を出した時に、地域の人達が50年後、60年後使える校舎を残して、子供達の幸せや教育を発展させてあげたいと考えてもらえると思う。

平成27年までちょうど10年だが、工事を含めて10年なので、かなりのペースで教育委員会、町当局は頑張ったと思う。たぶんこの状況は誇れるようなものだと思う。

おそらく、佐久インターからジャンクションで南の方へ下りて行く。苔で有名な白駒の池とか日本で一番群生している白樺の林がある所で、すごくのどかな所だと思う。是非、2時間弱で行けるとのことなので、皆様時期が来たら、密を避けながら足をのばしていただくとこの学校が見えるのかと思う。白駒の池は神秘的。日本にこんな所はあるのという感じ。白樺の群生林もある。

今日、皆様から沢山の意見をいただいたが、適正規模という点でいうと、何となく皆様の考えは3つの学校を1つにしていくのが良いかと、また、やむを得ないのかと見てとれたが、問題はいつ頃の時期にすれば良いのか。または1つにした場合、どこに造れば良いのか。今の話では、どこかの学校をそのまま利用するはちょっとという感じで、だからやはり、新しいのを造ってあげたいというのが皆様強いように感じる。次回、用地を取得して、校舎を造って色々なものを準備して、スクールバスにする場合どれくらいかかるのかを含めながら、今度は、時期とか場所とか、そういったものを考えていかなければならないのではないかと思います。これが最終的な答申に盛り込まれていくのが良いと思うが、いかがか。

今日が5回目だが、だらだらと長くやっても

	<p>しょうがないので、皆様の意見が少しずつまとまってきたところで、ここまでは決まったと少しずつ積み上げていきたいと思うが、今日の段階では、子供達の為に時期は分からないが、ゆくゆくは町としてはやむを得ないのだろう、というところだと思う。</p> <p>この次に色々な資料をもらいながら、今日のもある程度読めるところはあると思うが、お金のこともあるので、時期や場所については、この次に松久小学校を視察した後、少し話を詰めていければ良いと思うが、よろしいか。</p>
委員	はい。
委員	<p>会議の議題ではないが、私達3人のPTA会長が3月いっぱい、4月から新しい会長に代わる。こちらの会議の任期を引き続きやるべきか、4月をもって新しいPTA会長にバトンタッチするべきか各小学校でバトンを渡すタイミングを揃えようと3人で話をしていた。おそらく、区長も代わるし、私達がまとめてバトンタッチする方が、事務局が説明を何度もなくて済む。校長先生は異動がなければこのままいかれるのだろうが、どこでバトンタッチするのがよろしいか。</p>
事務局	<p>適正規模等検討委員会設置要綱の中でのメンバーについては、例えば、PTAからの代表、区長会からの代表ということになっている。当初は、PTA会長にしても1年で交代していくのはこちらも分かっている部分ではあった。ただそうは分かっているながらも運用面で考えると、1年間やってきてもらって分かっているも、年度代わってまた新しい人が来て、事務局側としては昨年度はこういう段階を踏まえてこういう結論に今なっていますという説明をしようと考えているが、まず要綱整備をして、PTAのかたというのをどうするか、保護者の代表とかに直すか、それともPTAの引き継ぎで次のかたに引き継いでもらってもやむを得ないかについて、他の市町村も調べたいので、次回までの宿</p>

	題にさせていただきたい。
委員長	事務局には、宿題が沢山出てしまったが、よろしくお願ひしたい。 議事を終えた状況にあるが、言っておきたいことがあればお願ひしたい。 (4)その他について事務局から説明を求める。
事務局	次回の会議の調整をさせていただきたい。事務局案は、次回松久小学校の視察をさせていただく関係で、候補日として2月25日(木)を挙げさせていただければと思う。
委員長	2月25日(木)、時間は今日と同じくらいか。
事務局	午後1時30分で、今のところ会場は、松久小学校が近くなのでコミュニティセンターを予定しているが、正式には通知する。
委員長	2月25日(木)、午後1時30分、松久小学校視察。場所については、後日連絡ということでもよろしくお願ひしたい。 以上をもって本日の議事は全て終了である。
4 連絡事項	事務局
5 閉会	

上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。

令和3年 月 日

委 員 _____

令和3年 月 日

委 員 _____